

主体的・
対話的で
深い学び

授業実践

英語

クリティカルシンキングの
スキルを英語で学び、
文化祭の企画立案に取り組む



山形県・私立東北文教大学山形城北高校

Joshua Pako ジョシュア・パコ



同校に赴任して3年目。英語科。特進科1学年担任。
バスケットボール部顧問。オーストラリア国立大学卒業後、
来日。2021年度、同校の教師となった。

学校概要

- ◎設立 1926 (大正 15) 年
- ◎形態 全日制 / 普通科・特進科 / 共学
- ◎生徒数 1学年約 360 人
- ◎2022 年度卒業生進路実績 国公立大は、室蘭工業大、山形大、東京学芸大、新潟大、山形県立保健医療大などに 8 人が合格。私立大は、東北学院大、東北文教大、駒澤大、専修大などに延べ 160 人が合格。

私が
目指している
授業

中学生の時に、母国のオーストラリアで日本語を学び始めました。日本のことが好きなのに日本語は上達せず、高校の先生から「諦めれば？」と言われたこともありましたが、日本語を使えるようになりたいという一心で、オーストラリア国立大学言語学部で日本語を専攻しました。そうした経験から、私は母国語以外の言語を学ぶ大変さや人前で話す恥ずかしさをよく知っています。そのため、授業では生徒が失敗を恐れず、英語での活動を楽しめる雰囲気づくりを心がけています。また、自分がやりたいことを見つけられない生徒が少なくありません。クリティカルシンキングのスキルを身につけ、自分のことを深く知り、視野を広げるきっかけとなる授業を目指しています。

※プロフィールは、2024年3月時点のものです。

授業レポート

本時の概要

【対象】 2年生
【教科・科目】 英語・英語コミュニケーションⅡ
【単元】 次年度の城北祭（文化祭）におけるクラスの出し物の企画立案（パコ先生が作成した単元【*1】）
【本時の目標】 クラスの出し物（お化け屋敷）の告知に生かすために、「1日に見る広告の数」について書かれた英語の素材文を読み、効果的な広告の方法について考える。
【授業時数】 全8時間のうちの6時間目

ウェブサイトVIEWnext ONLINEでは、授業のダイジェストを動画で紹介！



お
勧
め
の
分
享

管
理
職

教
務
担
当

進
路
担
当

担
任

1 広告の特徴をペアで話し合う ⌚ 10分間



ウォーミングアップとして、ペアでベンゲーム（*2）を行った後、パコ先生が、本時の学習内容は「城北祭（文化祭）でのクラスの出し物として決めたお化け屋敷の広告の方法を考えるために、広告の影響力について学ぶこと」と説明。「私たちが広告を見る場面」や「広告のよい点と悪い点」について、それぞれ1分間、ペアで英語で話し合った。

2 広告に関する素材文の読解 ⌚ 15分間



パコ先生が「人は1日に広告を幾つくらい見ていると思う？」と質問すると、生徒は「10」「15」などと予想を発言。予想が合っているか、その数をスマートフォンで調べ、ペアで結果を共有した。次に、「1日に見る広告の数」について書かれた英語の素材文を読み、広告の数や媒体など、読み取った内容を端末のワークシートに英語で入力した。

3 各広告媒体のTQCを考える ⌚ 15分間



4人1組のグループとなり、各グループに新聞・看板・SNS・動画投稿サイトなどの広告媒体を割りあてた。それぞれ、Time（時間）、Quality（質）、Cost（費用）の「TQC」の視点で、割りあてられた広告媒体の特徴について、英語と日本語を交えて話し合った。データを多角的に検討する力を高めることも、本単元のねらいの1つだ。

4 他のグループとTQCを共有 ⌚ 10分間



グループで話し合ったTQCについて、端末のワークシートに英語で入力。「Cost: A little high, because the signboard is big.」などと理由を添えるよう、パコ先生は指示を出した。次に、各グループから1人ずつ集まって4人1組の新しいグループを作り、元のグループで話し合った広告媒体のTQCについて、1人1分間、英語で発表。様々な広告媒体のTQCを共有した。

*1 同校では毎年9月に城北祭（文化祭）を開催しており、夏季休業中に行う準備は担任、生徒ともに負担が大きかった。そこで、クラスの出し物の検討を教科学習と関連させて行うことをパコ先生が学校に提案。了承され、本単元を作成した。 *2 ペンを持った人が英単語を言ってペアの相手にペンを渡し、渡された人は別の英単語を言ってペアの相手にペンを渡す。それを繰り返し、タイムアップ時にペンを持っていた方が負けというゲーム。本時では「教室にあるもの」をテーマにゲームを行った。

発問・課題設定の観点



英語で学びながら
クリティカルシンキングを
高めていく

本単元は、英語を使いながら次年度の城北祭（文化祭）のクラスの出し物の準備をする内容とし、英語4技能とクリティカルシンキング、分析力を総合的に高めていくことを目指しました。

クリティカルシンキングの育成は、普段の授業でも意識しています。教科書には書かれていない自分の考えを、根拠とともに表現できることを目指します。定型の表現を身につけると、英語が苦手な生徒も意見を

発信しやすくなるため、言語活動が活発になります。

1つ前の単元では、「TEXAS」(*3)を取り上げました。それは主題・説明・例文・分析・要約の略称で、論理的・批判的な文章を書くために必要な要素です。それらを踏まえて英作文に取り組んだところ、多くの生徒が「A(分析)」が書けていませんでした。そこで、分析の視点を持てるよう、本単元では「TQC」(*4)を取り上げ、本時は「看板の製作には時間や費用がかかるが、SNSは複製が容易で費用が抑えられる」などと、生徒は広告媒体を多面的に捉えて話し合っていました。

図1 本単元の指導計画の概要(全8時間)

- 1 2023年度の城北祭の振り返り
23年度の城北祭でのクラスの出し物について、よかった点や課題を生徒間で共有。
 - 2 TQCについて学ぶ
Time(時間)、Quality(質)、Cost(費用)の「TQC」で経済効率を捉える考え方について、大手ファストフードチェーン店を例に説明。
 - 3 提案書を作成
TQCを踏まえて、次年度の城北祭の出し物や運営方法などについて話し合い、英文で提案書(250~350語程度)を作成(ライティングのパフォーマンステスト)。
 - 4 提案書を発表
グループ内で提案書を発表し(発表のパフォーマンステスト)、出し物を検討。
 - 5 出し物の運営方法を検討
特進科2クラスのうち、1クラスはお化け屋敷、もう1クラスは飲食店に決定。運営方法について話し合った。
 - 6 広告の効果について学ぶ(本時)
英語の素材文の内容やTQCを踏まえて、広告の特徴について話し合った。
 - 7 広告媒体を決定
各広告媒体をTQCで比較し、次年度の城北祭で活用する広告媒体を決める。
 - 8 振り返り
リフレクションシートを基に本単元を振り返る。
- ※学校資料を基に編集部で作成。

学習評価の工夫



ChatGPT⁵、
ルーブリックと
英文の模範解答を作成

本単元の学習評価は、生徒が各自で作成する出し物の提案書とその発表、授業態度などを基に行います。提案書と発表は5段階のルーブリック(図2)で評価し、発表では生徒の相互評価も行いました。

評価の過程ではChatGPTを活用し、業務の効率化と生徒の英語による表現力の育成に役立てています。本単元では次のように使いました。

- 1 ChatGPTで提案書のルーブリックを作成し、生徒に提示。
- 2 生徒の手書きの提案書を添削。ルーブリックの該当レベルと評価コメントを記入。
- 3 ChatGPTで生徒の提案書と同じ内容・分量・レベル(CEFR⁵のA2レベル)の英文を模範解答として作成し(P.29コラム)、添削した提案書とともに生徒に返却。私の添削と模範解答を読んだ生徒は、「この単語を使えばよかったの

か「こんな表現もあるのか」といったことに気づいたはず。それが単語や文法、表現のスキルアップにつながるかと期待しています。

図2 提案書のルーブリック(抜粋)

Level	Structure (TEXAS)	Content (Idea Explanation)	Language Accuracy	Analysis
Excellent	Exceptionally well-organized with a clear introduction, body, and conclusion. Logical flow and coherence throughout.	Highly relevant and thoroughly developed content. Ideas are innovative and align with the festival's goals.	Minimal to no errors. Near-native accuracy. Appropriate B1 level vocabulary and expressions.	Comprehensive analysis of "Time," "Quality," and "Cost." Demonstrates a deep understanding of the proposal's feasibility and impact.
Good	Clear structure with defined introduction, body, and conclusion. Good flow of ideas.	Relevant and well-developed content with clear, practical suggestions or ideas for the festival.	Few errors that do not hinder comprehension. Good use of A2-B1 level vocabulary and	Detailed analysis of "Time," "Quality," and "Cost." Shows a good understanding of the proposal's practical

※学校資料を基に編集部で作成。

* 3 Topic sentence (主題)、Explanation (説明)、Example (例文)、Analysis (分析)、Summary (要約)の頭文字を取った略称。 * 4 Time (時間)、Quality (質)、Cost (費用)の頭文字を取った略称。 * 5 ヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages)の略称。語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、包括的な基盤を提供するものとして、2001年に欧州評議会が発表。A (基礎段階の言語使用者)、B (自立した言語使用者)、C (熟達した言語使用者)ごとに2レベル、計6レベルが設定されている。



ChatGPTを活用した授業づくり

授業で扱う素材文のレベルの修正やテストの作問、学習評価などでChatGPTを活用し、業務の効率化を図っています。具体的には次のように活用しています。

●素材文を生徒の英語のレベルに応じて書き直す

本時のリーディングの素材文として扱った「1日に見る広告の数」は、ChatGPTで作成しました。テーマに合った素材文はあったのですが、本校の生徒にとっては少し難しい英文でした。そこで、ChatGPTを活用しながらCEFRのA2レベルの英文に書き直しました。

●提案書のルーブリックと模範解答を作成

提案書のルーブリック(図2)は、次のプロンプト(*6)をChatGPTに入力して作成しました。

私はCEFRのA2レベルの生徒に英語を教えています。彼らはちょうど筆記試験を終えたところです。彼らの課題は、1)文化祭の新しいイベント、または2)例年行われているイベントの改善案を作成することでした。以下の基準で評価されます。

- 1) 提案の構成
- 2) 提案の内容
- 3) 言葉の正確さ
- 4) 提案内容の分析(提案の時間・質・コストを評価する)
- 5段階のルーブリックを表形式で作成してください。

模範解答は、生徒が作成した提案書をGoogleレンズ(*7)で撮影して文字データに変換し、それを基

にChatGPTでCEFRのA2レベルの英文を作成しました。生徒は、私の添削とともに、自分が作成した提案書を基にした模範解答を受け取りました。そのフィードバックの方法は、「自分が作成した英文をより具体的に振り返ることができる」と、生徒から好評です。

●生徒の英語のレベルに合わせた作問

リーディングの問題は、ChatGPTに以下のプロンプトを入力して作成しました。生徒の英語のレベルに合った作問ができています。

目標: 生徒の英語を読む能力を高めたい。さらに助動詞の復習をさせたい。

CEFRのA1レベルの生徒に、助動詞の「can, should, will, must, may」を教えています。次の条件で英語のリーディング問題を作ってください。

- リーディング問題は150語
- できれば助動詞をたくさん使う
- テーマは海外旅行

問題を作り終わったら、文章から4文字以上の単語を取り上げて、単語リストとしてまとめてください。

ChatGPTは進化途中のもので、あくまでもツールの1つです。ChatGPTが作成したルーブリックや模範解答などは私が必ず内容を確認して、プロンプトを修正して作り直したり、自分で修正したりした上で活用しています。それでも、自分でゼロから作成するよりも、労力は大幅に軽減されます。ChatGPTの活用によって捻出できた時間は、生徒とのコミュニケーションや教材研究などに充てています。

お勧めの分掌

管理職

教務担当

進路担当

担任

成果と展望

自信を持って
英語を使えるように
なった生徒たち



大きな成果は、生徒が自信を持って英語を使えるようになったことです。恥ずかしくて話せなかった生徒や、教科書に書いてあることしか話せなかった生徒が、自分の意見を積極的に英語で述べている姿を見ると、達成感が満たされます。

私が得意なクリティカルシンキングや思考の枠組みを生かして、教科学習と学校行事を連携させた単元が実現したことも成果の1つです。生徒も教師も、3年次の文化祭の準備時間を削減できると期待しています。次年度は、予算も含めた提案書を発表する単元にする予定です。

今後の目標は、大学入試でも成果を出すことです。クリティカルシンキングは社会だけでなく、大学入試でも重視されています。生徒の希望進路の実現につながる授業を、これからも追求していきます。

*6 コンピューターの操作時に入力や処理を促すメッセージや記号のことで、生成AIの利用においてはユーザーが入力する指示や質問のことを指す。
*7 カメラを通して映したものの情報をAIを使って提供してくれるアプリケーション。映した物の名前を検索したり、読み取ったテキストを翻訳したりすることができる。